

8. 羊のミルクから

春になったら子羊が生まれ、母羊はミルクを飲ませます。人はそのミルクを横取りしてヨーグルトやチーズ、バターに加工保存して暮らしてきました。

「砂漠の民、ベドウィンの人々は羊のミルクの採れる1月～9月の間、ミルクをあの手この手で加工して暮らす。すなわち元本^{がんばん}の肉には手を出さず、利子のミルクに頼って暮らしているのだ。」(平田昌弘「ヒツジのミルクー命の糧」スピナッツ 63号)

羊のミルクは日本ではあまり知られていないようですが、遊牧民にとっては大切な羊の恵みのひとつなのです。

シリアの羊の乳加工体系

